

図書館だより 2017 7月

能勢高等学校図書館

やっと夏休み。有意義に過ごしたいね。

新しい本、入ってます。

夏休み中の開館について

夏休み中は、下記の日程・時間にて開館しています。読書、自習などに活用してください。

7月21日(金)～28日(金)

土・日曜を除く

開館時間は9:00～15:00

【コミックス】

コウノドリ18 鈴ノ木ユウ 講談社



妊婦・篠原さんは過去2回、流産していた。今回3度目の妊娠をしたが、嬉しさと不安が入り混じる。鴻鳥たちも、篠原さん夫婦も、今度こそ、赤ちゃんの心拍が確認できるように祈るが――。



【文学】



真夜中のパン屋さん 午前5時の朝告鳥 大沼紀子 ポプラ社

真夜中に開店する不思議なパン屋「ブランジュリークレバヤシ」。希実の母律子の死から五年の月日が経ち、暮林や弘基の周辺には様々な変化の波が訪れていた。それは、常連客である斑目やソフィアやこだま、美作親子や多賀田たちにとっても同様だった。そしてもちろん、希実にとっても。

「まよパン」シリーズ、ついに完結!!

劇場 又吉直樹 新潮社

一番 会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろな。夢と現実のはざまでもがきながら、かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。



銀二貫 高田 郁 幻冬舎



大坂天満の寒天問屋の主・和助は、仇討ちで父を亡くした鶴之輔を銀二貫で救う。大火で焼失した天満宮再建のための大金だった。引きとられ松吉と改めた少年は、商人の厳しい躰と生活に耐えていく。料理人嘉平と愛娘真帆ら情深い人々に支えられ、松吉は新たな寒天作りを志すが、またもや大火が町を襲い、真帆は顔半面に火傷を負い姿を消す…。

コーヒーが冷めないうちに 川口俊和 サンマーク出版

結婚を考えていた彼氏と別れた女、記憶が消えていく男と看護師、家出した姉とよく食べる妹…。あの日に戻れる喫茶店「フニクリフニクラ」を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。



か・く・し・ご・と 住野よる 新潮社



きっと誰もが持っている、自分だけの「かくしごと」。みんなには隠している、ちょっとだけ特別なことから。別になんの役にも立たないけれど、そのせいで最近、君のことが気になって仕方ないんだ――。クラスメイト5人の「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想い。ベストセラー『君の臓腑をたべたい』の著者が贈る、眩しくて時に切ない、共感度1の青春小説!

十二人の死にたい子どもたち 沖方 丁 文藝春秋

廃業した病院にやってくる、十二人の子どもたち。建物に入り、金庫を開けると、中には1から12までの数字が並べられている。この場へ集う十二人は、一人ずつこの数字を手にする決まりだった。初対面同士の子どもの目的は、みんなで安楽死をすること。病院の一室で、すぐにそれは実行されるはずだった。しかし、十二人が集まった部屋のベッドにはすでに一人の少年が横たわっていた。彼は一体何者なのか、誰かが彼を殺したのではないか。このまま計画を実行してもいいのか。この集いの原則「全員一致」にのっとり、十二人の子どもたちは多数決を取ろうとする。性格も価値観も環境も違う十二人がぶつけ合う、それぞれの死にたい理由。彼らが出す結論は一。



リバース 湊かなえ 講談社

深瀬和久は平凡なサラリーマン。自宅の近所にある“クローバー・コーヒー”に通うことが唯一の楽しみだ。そんな穏やかな生活が、越智美穂子との出会いにより華やぎ始める。ある日、彼女のもとへ『深瀬和久は人殺しだ』と書かれた告発文が届く。深瀬は懊悩する。遂にあのことを打ち明ける時がきたのか――と。



アキラとあきら 池井戸潤 徳間書店

零細工場の息子・山崎瑛(あきら)と大手海運会社東海郵船の御曹司・階堂彬(かいどうあきら)。生まれも育ちも違うふたりは、互いに宿命を背負い、自らの運命に抗って生きてきた。やがてふたりが出会い、それぞれの人生が交差したとき、かつてない過酷な試練が降りかかる。逆境に立ち向かうふたりのアキラの、人生を賭した戦いが始まった――。

掟上今日子の裏表紙 西尾維新 講談社

遺体の隣で血まみれの凶器を握りしめて眠っているのを発見された掟上今日子。忘却探偵の専門家として駆けつけた厄介は、今日子さんの無実を証明できるのか…?



【芸術】

西洋美術の歴史3 中世Ⅱ ロマネスクとゴシックの宇宙 中央公論新社

中世の後半に相当するロマネスクとゴシックの建築や美術を、現在は失われた当時の歴史的な環境のなかに返し、そこでどのように見られ、受けとめられていたかを解き明かす。

西洋美術の歴史5 ルネサンスⅡ 北方の覚醒、自意識と自然表現 中央公論新社

14世紀の中世末期から、15・16世紀のアルプス以北におけるルネサンスの芸術文化を具体的に論じる。

西洋美術の歴史7 19世紀 近代美術の誕生、ロマン派から印象派へ 中央公論新社

西洋の社会と文化が決定的な形で変貌した19世紀の美術を、21世紀とは異なる考え方や価値観に基づく時代特有の眼差しを復元しながら、包括的に展望する。

西洋美術の歴史8 20世紀 越境する現代美術 中央公論新社

フォーヴィスムとキュビスムという美術革命で幕を開け、抽象芸術の登場でその変革を加速させた20世紀美術の、今・ここへとつながる多様な展開に迫る。

【技術・家政】

虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡 小松成美 幻冬舎



「彼らこそ、この会社に必要なんです」

社員の7割が知的障害者のチョーク工場が、「日本でいちばん大切にしたい会社」と呼ばれるその理由とは。

会長や社長、働く社員、さらには、普段語られることの少ない障がい者のご家族へのインタビューを通して、「働く幸せ」を伝える一冊。

【自然科学】

犬が来る病院 大塚敦子 KADOKAWA

「わたしの病院、犬が来るの」それは、子どもたちへのすばらしい贈り物だった。日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた医療機関、聖路加国際病院。入院中であっても子どもたちが豊かな時間を過ごし、困難を乗り越えていけるように、医師や看護師、保育士、心理士、チャプレン(病院で働く牧師)等多くのスタッフたちで行われる取り組みを、4人の子どもたちの生死を通して描いた感動の記録。

